

マーケットの動き（2026年5月11日～5月15日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米国とイランの戦闘終結に向けた交渉が進展せず原油価格が上昇し、エネルギーの多くを輸入に頼る日本の貿易収支悪化が懸念され、円売り・ドル買いが優勢となりました。さらに、12日・13日に発表された4月の米物価指標が市場予想を上回ったことを受け、米長期金利が上昇したこともドル買いを後押ししました。

ユーロは前週末比、対円でほぼ横ばいだった一方、対米ドルでは下落しました。

投資環境見通し（2026年5月）

米ドル、ユーロはともに円に対して強含みで推移

米ドル：中東情勢を巡る不透明感が続く中、日本政府による財政拡張政策が円安材料とみられることから、ドルは円に対して強含みで推移するとみてます。ただし、日本の通貨当局による円買い市場介入に対する警戒感も強いことから、当面の上値は重いとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測が広がる中、日本政府による財政拡張政策が円安材料とみられることから、ユーロは円に対して強含みで推移するとみてます。ただし、日本の通貨当局による円買い市場介入に対する警戒感も強いことから、米ドルと同様に当面の上値は重いとみています。

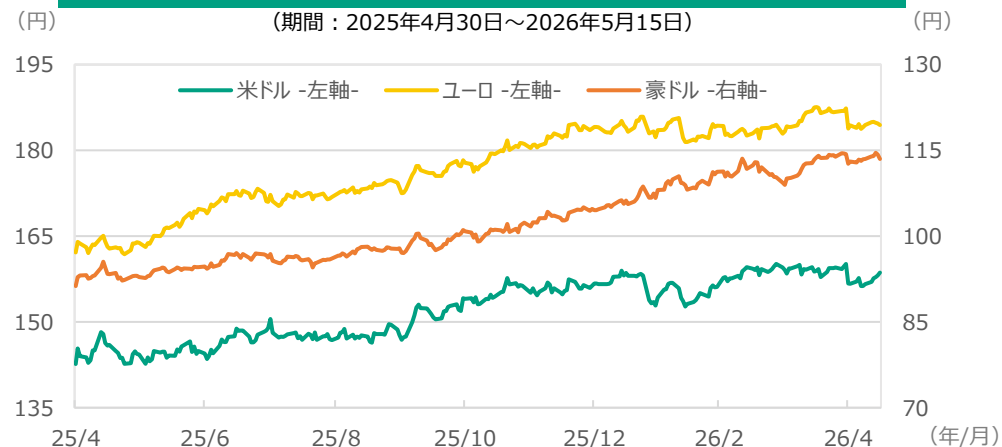
	5月15日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	158.60	1.97	▲0.39	4.16	12.76
ユーロ/円	184.45	0.01	▲3.12	5.10	21.29

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

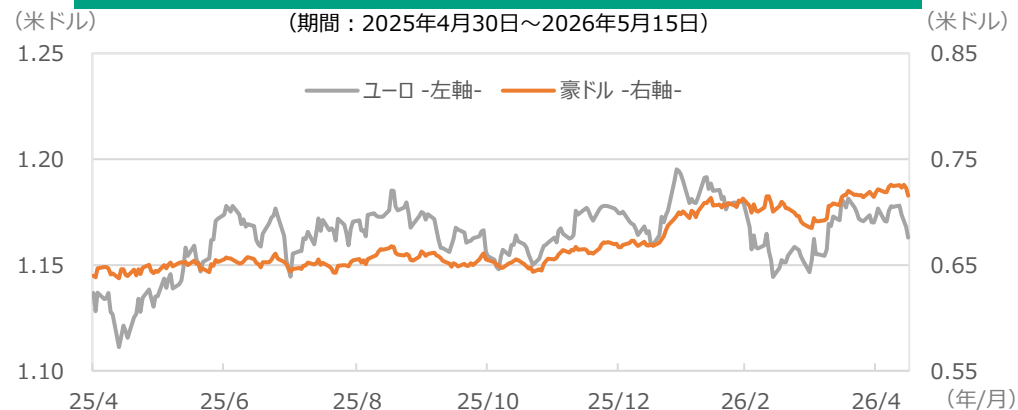
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202605_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>